

## 長者原スマートインターチェンジに係る 今後の対応方針（案）について

◎スマートインターチェンジ整備事業制度実施要綱の運用（一部抜粋）

(2) 地区協議会における検討・調整

フォローアップの結果、実績交通量が計画交通量に達していないなど計画時に見込んでいた効果発現が見られない場合は、供用後1年以降も少なくとも1年に1回地区協議会を開催し、速やかに利用促進方策を検討・実施しなければならない。また、スマートICとその前後の既設ICにおける出入交通量の合計が、整備前の前後の既設ICにおける出入交通量の合計を下回る場合については、地区協議会において対応方針を策定しなければならない。

◎長者原スマートICの計画交通量等の状況

長者原スマートICの「計画交通量」及び「スマートICとその前後既設IC出入交通量の合計」は次のとおり。

(長者原)

(十の位四捨五入、単位：台/日)

計画交通量 900台/日	古川IC	長者原SIC	築館IC	合計
開通前（H17年度）	9,000	0	4,300	13,300
開通後（R3年度）※①	7,600	1,000	4,100	12,700
				-600

※①：開通後R3年度：R3.4月～R4.1月までの暫定期間

毎月、NEXCO東日本より提供されているデータ「スマートIC出入交通量」より作成

要綱に規定する地区協議会における 検討・調整の規定	達成状況	備考
①実績交通量が計画交通量に達しているか	クリア	長者原：1,000-900=+100
②整備前の前後の既設ICにおける出入交通量の合計が上回っているか	未達成	インターチェンジ 比較表 参照（次項）



次項のインターチェンジ比較表（年度）を参照すると、宮城県・仙台市による独自の緊急事態宣言の期間及び10月を除きインターチェンジの利用動向を前年度比較した結果、増加傾向にある。

## インターチェンジ比較表（年度）

(長者原 SIC)

(8/12～9/30 宮城県と仙台市による独自の緊急事態宣言)

	令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比較
4 月	25,267	29,978	118.6%
5 月	24,770	30,043	121.3%
6 月	29,461	31,037	105.3%
7 月	31,480	31,812	101.1%
8 月	32,862	30,771	93.6%
9 月	32,597	31,665	97.1%
10 月	35,577	33,712	94.8%
11 月	32,771	33,822	103.2%
12 月	29,091	30,203	103.8%
1 月	23,103	25,433	110.1%

上記の表に記載のとおり、長者原スマートインターチェンジについては

### 10月の利用台数

令和2年度10月の利用台数は、35,577台に対して令和3年度10月の利用台数は、33,712台となり前年度と比較し、94.8%減少。

### 11月の利用台数

令和2年度11月の利用台数は、32,771台に対して令和3年度11月の利用台数は、33,822台となり前年度と比較し、103.2%増加。

### 12月の利用台数

令和2年度12月の利用台数は、29,091台に対して令和3年度12月の利用台数は、30,203台となり前年度と比較し、103.8%増加。

### 1月の利用台数

令和3年度1月の利用台数は、23,103台に対して令和3年度1月の利用台数は、25,433台となり前年度と比較し、110.1%増加。



## 【今後の対応方針（案）】

新型コロナウイルス感染症の終息に注視しながら利用動向等についてフォローアップするとともに、引き続き周知活動などに取り組む。